

リカレント教育ワーキング

◎概要

☆地域を対象とした教育研究による産業・地域活性化の推進と社会人の学び直し支援

(1) 多様なニーズに応えるリカレント教育の推進

- ・ 今後は生産年齢人口の急激な減少や過疎化、小規模集落の増加等が進むことから、高齢者や女性など多様な人材の社会参加を一層促す必要
- ・ 人生100年時代を迎え、高齢者から若者まで、全ての世代に活躍の場があり、全ての人々が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくることが期待されている
 - ⇒ 知の拠点である高等教育機関として、生涯を通じて切れ目なく、質の高い教育を用意し、いつでも有用なスキルや知識、必要な能力を身に付けられる学び直しの場を提供、充実させることが重要

◆サテライトキャンパス等における講座の提供

◆県内産業の創出を目的とした履修証明制度の開発、実施（ニーズ調査等を含む）

◆人材ネットワーク化事業の推進

◆保育士・栄養士等の再教育の推進（短期大学）女子中高生の進路選択支援プログラムの実施

◎2019年度取り組み

2019年9月にワーキング設置承認

2019年10月～ 2019年度は地域活性化事業（リカレント教育事業）で代替し、ワーキングは事前協議（情報収集）を行う（COC+事業の後継事業の内容が変わったため）。

◎2020年度取り組み

2020年4月 協議会の組織変更を見据えて協議開始。

2020年8月 リカレント教育事業は代議員会ワーキングで検討。

◎2021年度取り組み

2021年4月 地域人材創出部会の取り組みとして再始動。

2021年8月 大分市産業活性化プラザにおける産学官連携講座をおおいた地域連携プラットフォーム事業として連携する方向で調整開始。その後、計画決定（10月）。

2022年1月 「産学官連携講座」～ビジネスパーソンの学び直しのために～を全4回として、J:COMホルトホール大分で対面開催及び希望する市町村へライブ配信を予定。

◎参画機関（2021年度現在）

地域人材創出部会にて所管（部会長：大分銀行，副部会長：大分県，別府溝部学園短期大学，委員：大分大学，大分県立芸術文化短期大学，日本文理大学，別府大学，立命館アジア太平洋大学 他）

中長期計画における主管機関：

日本文理大学（主），立命館アジア太平洋大学（副），別府溝部学園短期大学（副）

◎目標指標（2022年度）

リカレント教育の受講者数：50人

以上